

本校では、今年度、歯科校医の先生による口腔ケアの講話と実習を全学年で実施している。コロナ禍をきっかけに、口腔ケアの実習を校内で実施できなくなり、当時の養護教諭と歯科校医とで考案したのが、一人ずつ染め出し液と綿棒数本をセットとして配り、持ち帰りによる家庭での染め出し実習だった。

学校での染め出し実習は1回で終わってしまうが、持ち帰りによる実習とすることで、染め出し液のある限り数回の染め出しを繰り返すことができるようになった。家族と一緒に取り組むことで口腔ケアへの意識を高めることにもつながった。ホームワークとして複数回の染め出しの結果をワークシートに記入させ、各回の工夫を振り返ることで、効果的な歯磨き方法の発見、習得につながるものとなっている。

◆実施時期と実施内容

対象学年	実施時期	学校での 歯磨き実習	内容
1年生	11月	なし	1クラス1時間の講話、家で染め出し
2年生	6月	あり	1クラス1時間の講話と実習
3年生	6月	あり	1クラス1時間の講話と実習
4年生	9月～10月	なし	1クラス15分の講話、家で染め出し
5年生	11月	なし	1クラス15分の講話、家で染め出し
6年生	2月(予定)	あり	1クラス1時間の講話と実習

◆講話の内容・重点ポイントのまとめ

対象学年	講話の内容・重点ポイント
1年生	【第一大臼歯をていねいに磨く】 自分の口腔に興味を持ち、基礎となる知識の習得を図る。
2年生	【歯の外側をきれいに磨く】 歯の形やその働きの違いを知る。染め出しにより汚れに注目し、ていねいな歯磨きをする。
3年生	【汚れがたまりやすく、みがき残しが多くなる場所を知り、工夫して磨く】 基礎知識、口と全身の関連知識の習得を図る。
4年生	【自分の歯列にあった歯磨きをする】 【補助具（フロス等）の使い方を知り、清潔度を高める】
5年生	口腔を健康に保とうとする意識をもち、自分の歯並びにあった歯磨きができるようになる。補助具の存在や使い方を知り、口腔の清潔度を高める。
6年生	【咀嚼の重要性を知る】 【歯肉炎の予防と効果的な歯磨きの仕方を知る】 咀嚼の全身への好影響を知る。自分の咀嚼の現状を振り返り、食事の仕方を考える。歯肉炎について知る。